

遊びでつなぐ地域づくり

NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

代表理事 湊野彩子



冒険遊び場の定義

冒険遊び場は、すべての子どもが自由に遊ぶことを保障する場所であり、子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、子どもと地域と共につくり続けていく、屋外の遊び場である。

2021年3月

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会

埼玉県内で冒険遊び場づくりに取り組んでいる団体 (2023年4月現在)

<p>1 社会福祉法人わらしべ会</p> <p>▶ 熊谷市内 市域にてお見せ</p> <p>● 不定期</p> <p>☎ 048-588-7970</p>	<p>2 プレーパークはんのう EGAO</p> <p>▶ 橋場公園 (飯沼市緑町9)</p> <p>● 毎月第3日曜日</p> <p>☎ 070-1536-5192 (岩瀬)</p>	<p>3 小森野町子どもの遊び場推進協議会</p> <p>☆ 小森野町子どもの遊び場プレーパーク</p> <p>▶ みどりの村 (村の広場)</p> <p>● 不定期 (原則、月に1回 日曜日の10時~14時)</p> <p>☎ 小森野町役場こども課 (0494-75-4101)</p> <p>「小森野町 プレーパーク」で検索</p>	<p>4 久喜市に冒険遊び場をつくる会</p> <p>☆ きまぼー</p> <p>▶ 久喜市総合運動公園、子供広場、自由広場、グラウンドのはらばらと林</p> <p>● 第4土曜日 (8,12月は休み)</p> <p>☎ 090-8021-5520 (荻井)</p> <p>「くまぼー」で検索</p>	<p>5 森と子育てのつどいプロジェクト</p> <p>☆ 森と子育てのつどい</p> <p>▶ 北本市「てづくりの森」 南小通り大村産機 (北本市北本宿158) 他</p> <p>● 第2日曜日</p> <p>SNS「モリトコ」で検索</p>
<p>6 NPO法人あそび計画</p> <p>☆ おちかくプレーパーク</p> <p>▶ 鶴ヶ島市内公園各所</p> <p>● 第3土曜日</p> <p>☎ 090-5197-0039 (本部)</p> <p>活動休止中</p>	<p>7 NPO法人本気であそぶ応援団</p> <p>☆ ほんきっこ</p> <p>▶ 狭山台中央公園 (狭山市狭山台3-28)</p> <p>● 第2土・日曜日 他 (夏休みは連続5日間)</p> <p>☎ 04-2955-5737 (正能)</p> <p>「ほんきっこ」で検索</p>	<p>8 入間遊び場づくり協会</p> <p>☆ 冒険の森</p> <p>▶ 青少年活動センター</p> <p>● 5月~3月の土曜日</p> <p>☎ 04-2962-1005 (入間市青少年活動センター)</p> <p>http://blog.ap.teacup.com/irumaasobiba/</p>	<p>9 いるまプレーパーク作り隊</p> <p>☆ いるまーく</p> <p>▶ 青少年活動センター、他</p> <p>● 基本第3土曜日、変更有</p> <p>☎ irumaplaypark@gmail.com</p>	<p>10 NPO 法人 AIKURU</p> <p>☆ ねいちゃーほびほび</p> <p>▶ 入間市武道館裏など</p> <p>● 毎週水曜日</p> <p>☎ http://aikuru-iruma.com, 04-2966-2848</p>
<p>11 NPO法人ふじみっこ・夢みらい</p> <p>▶ 富士見市</p> <p>● 毎年11月頃</p> <p>☎ 「富士見市ふじみっこプレーパーク」で検索</p>	<p>12 SHIKISAI パートナーズ NPO法人 緑の遊び場づくりネットワーク</p> <p>☆ いろはプレーパーク</p> <p>▶ 志木市いろは緑水公園 (志木市中央5-2-57)</p> <p>● 偶数月の第1土曜日</p> <p>☎ 048-456-5070 (いろは緑水公園パークセンター)</p> <p>「いろはプレーパーク」で検索</p>	<p>13 NPO法人新産子育てネットワーク</p> <p>☆ ソトプレ</p> <p>▶ 新産市児童センター 福祉の里児童センター 他市内公園</p> <p>● 詳しくは上記児童センターHPへ</p>	<p>14 十文字学園女子大学生生活環境研究所</p> <p>☆ 森のプレーパーク</p> <p>▶ 新産市 十文字学園女子大学の敷地内の森</p> <p>「#1文字の森」で検索</p> <p>「子育て応援 Jumor」チーム LINE公式アカウントで発信中</p>	<p>15 NPO法人あさかプレーパークの会</p> <p>▶ 朝霧の森、城山公園 黒月川、その他市内公園</p> <p>「あさかプレーパークの会」で検索</p>
<p>16 NPO法人わこう子育てネットワーク</p> <p>☆ わこうプレーパーク</p> <p>▶ 市内公園</p> <p>● 不定期</p> <p>☎ info@wa-kosodate.com</p> <p>「わこう子育てネットワーク」で検索</p>	<p>17 戸田遊び場・遊ぼう会</p> <p>☆ 道楽プレーパーク</p> <p>▶ 彩湖・道楽グリーンパーク</p> <p>☆ ちびっこぼうけんひろば</p> <p>▶ 児童センター こどもの国</p> <p>☎ todaasobiba@yahoo.co.jp</p> <p>「戸田遊び場・遊ぼう会」で検索</p>	<p>18 外遊びを考える会 「どろんこの王様」</p> <p>☆ どろんこの王様</p> <p>▶ 富士見公園 (狭市錦町2)</p> <p>● 第3土曜、第2火曜日はか</p> <p>☎ doronkonousams@gmail.com</p> <p>「どろんこの王様」で検索</p>	<p>19 NPO法人 冒険あそび場ネットワーク草創</p> <p>☆ 日除松原あそび場</p> <p>▶ (草加市松江 1-1-23)</p> <p>● 木~月曜日 (週5日)</p> <p>☎ 048-935-7383</p> <p>「日除松原あそび場」で検索</p>	<p>20 NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会</p> <p>☆ 東越谷プレーパーク</p> <p>▶ 東越谷7公園 (越谷市花田1-4)</p> <p>☆ 越谷プレーパーク</p> <p>▶ 越谷総合公園 他</p> <p>「越谷プレーパーク」で検索</p> <p>☎ 090-7411-4693 (測野)</p>
<p>21 あそびの森</p> <p>☆ 別所沼プレイパーク</p> <p>▶ 別所沼公園・芝山エリア</p> <p>● 毎週木曜、第2・4土曜日</p> <p>☎ 050-6871-9625 (田中)</p> <p>「あそびの森プレイパーク」で検索</p>	<p>22 大宮プレーパーク・ねっこの会</p> <p>☆ 大宮第三公園プレーパーク</p> <p>● 不定期 (HPに開催日掲載)</p> <p>☎ oomiyaplaypark@yahoo.co.jp</p> <p>Twitter 「ねっこの会」で検索</p> <p>☎ 050-6867-7668</p>	<p>23 NPO法人たねの会</p> <p>☆ 冒険はらっぱプレイパーク</p> <p>▶ さいたま市子ども家庭総合センター「あいばれっと」屋外</p> <p>● 月・火・木・金・日・祝 (第2金曜休み)</p> <p>10時~17時(冬季は16時)</p> <p>「冒険はらっぱ」で検索</p>	<p>24 こびと東大宮3丁目</p> <p>☆ こびと東大宮3丁目</p> <p>▶ 東大宮ふれあい広場</p> <p>● 毎月第3水曜日 (9:30~12:00)</p> <p>☎ kobito3chome@gmail.com</p>	<p>25 NPO法人 ましがわ子育てネットワーク</p> <p>☆ プレイパーク・おそとで遊び隊</p> <p>▶ 市内公園</p> <p>● HPに開催日掲載</p> <p>☎ yoshikawa.xsodate@gmail.com</p> <p>☎ 048-983-5267</p> <p>「ましがわ子育てネットワーク」で検索</p>

- ・常設プレーパーク 2か所
- ・定期開催
- ・不定期開催
- ・行政の事業として開催
- ・市民の活動として開催
- ・施設の事業として開催 など、様々

団体紹介

子どもたちがのびのび思い切り遊べる「冒険遊び場（プレーパーク）」を越谷市にもつくりたいと願う市民が集まり、2002年に団体発足。2013年にはNPO法人格を取得し活動しています。

理事7名 会員数35名

現在の主な活動内容

- ① 越谷市放課後子ども教室「プレーパーク」教室を東越谷第7公園で実施
- ② 越谷市青少年課と協働で大袋原っぱ公園でプレーパークを運営（越谷市プレーパーク事業）
- ③ 遊びで地域をつなげる移動型の遊び場づくり「おちかくプレーパーク」
- ④ 越谷市のまちづくりに寄与するため「講演会」を開催

①

越谷市放課後子ども教室 (東越谷プレーパーク)

東越谷第7公園

毎月第3土曜日に開催

市内の小学生の登録制の遊び場ではあるが、公園にふらっと訪れた人も含めて遊び場づくりを行っている。

社会人のボランティア4名と理事や会員で、子どもたちの安全を見守り、子どもたちのやりたい遊びができるように工夫しながら開催している。



②

越谷市プレーパーク事業

越谷総合公園

主に第1土日に開催。

普通の公園では禁止されているボール遊びや木登り、水遊び、たき火を使った遊びなどを越谷市と協働で工夫しながら運営している。

遊び場の安全で過ごしやすい環境を整え、子どもたちの相談にのることができる専門家としてプレイワーカーが参加している。彼らがいることで幼少期から青年期、さらには大人が遊びを通してつながる場をつくっている。



「さんま」の減少

遊びに必要な三つの間

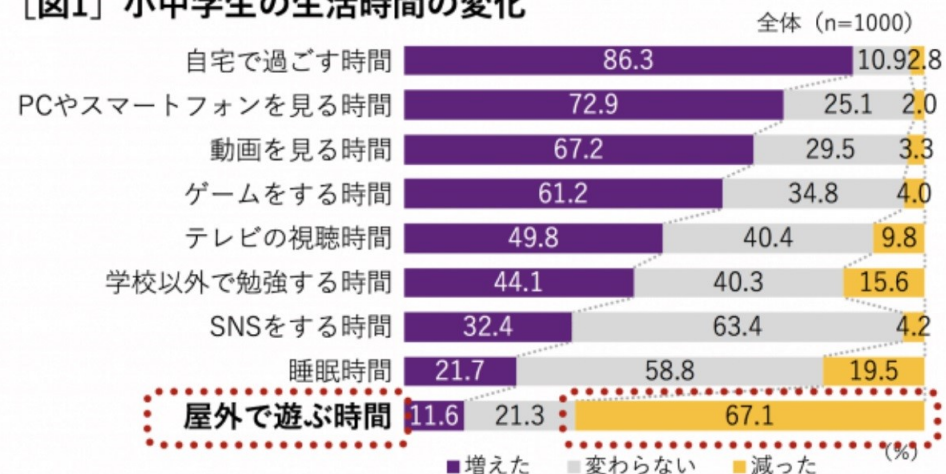
「時間」「仲間」「空間」が新型コロナウイルスの感染拡大でさらに減少傾向。

外遊び時間は1日平均35.4分と1年前(61.1分)より25分以上短縮、4割も短くなっている。

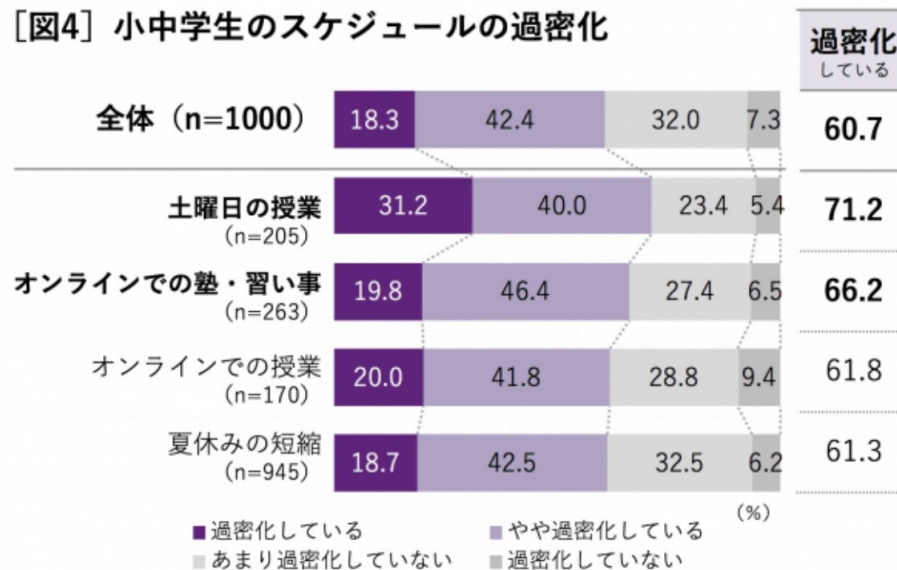
もっとも多い理由はコロナ禍で外出できないため。

さらに一日のスケジュールが過密化している。

[図1] 小中学生の生活時間の変化



[図4] 小中学生のスケジュールの過密化



2020年6月25日(木)～6月28日(日)調査
 「新型コロナウイルスによって変化した子どもの生活実態」に関する調査(近視予防フォーラム)
 小中学生の子どもを持つ20代～50代の保護者1,000人(父親・母親各500人ずつ)を対象



放課後や休日に子どもが外で遊ぶことは、当たり前ではなくなっている。

都市部

**ボール遊びの禁止等
東京・大都市に多い**

特長

子どもに人気な遊びであるボール遊びは、東京では全公園で一律で禁止（規制）されている自治体の割合が多い。また都市規模が大きいほど禁止している自治体の割合が高くなる。

都市部・農村部共通

**放課後に外遊びする子
絶滅危惧種**

平日の放課後に、外遊びの日数が激減。コロナ前の最新調査では都市部では平日の放課後外遊び0日の子どもが都市8割、農村部では6割。「外遊びでもゲーム」など、外遊び自体の再考の時期へ。

農村部

**豊かな自然はあれど
気軽に遊べない**

統廃合の影響により、スクールバスや親の送迎で遊んでいる子どもの4割の子どもが、放課後に遊ぶ友達は「だれもいない。」遊びに行く手段も親の送迎が半数以上にのぼる。

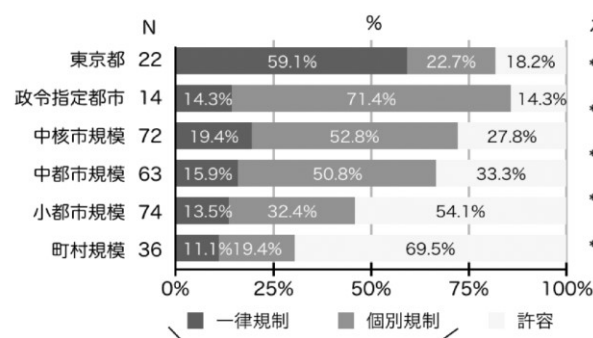


図1:都市規模別にみた都市公園におけるボール遊びの規制

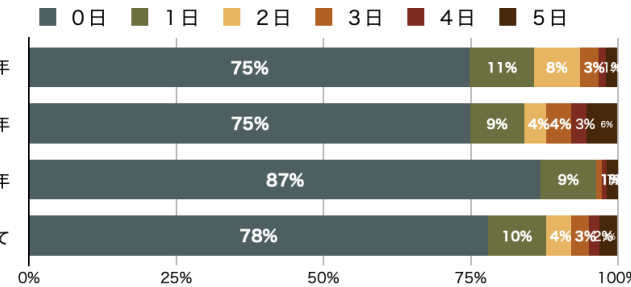
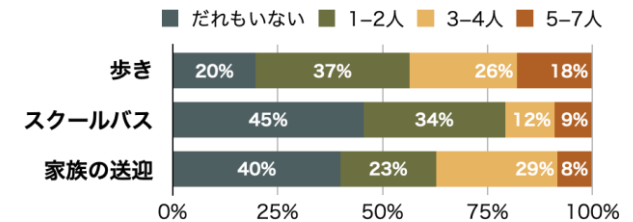
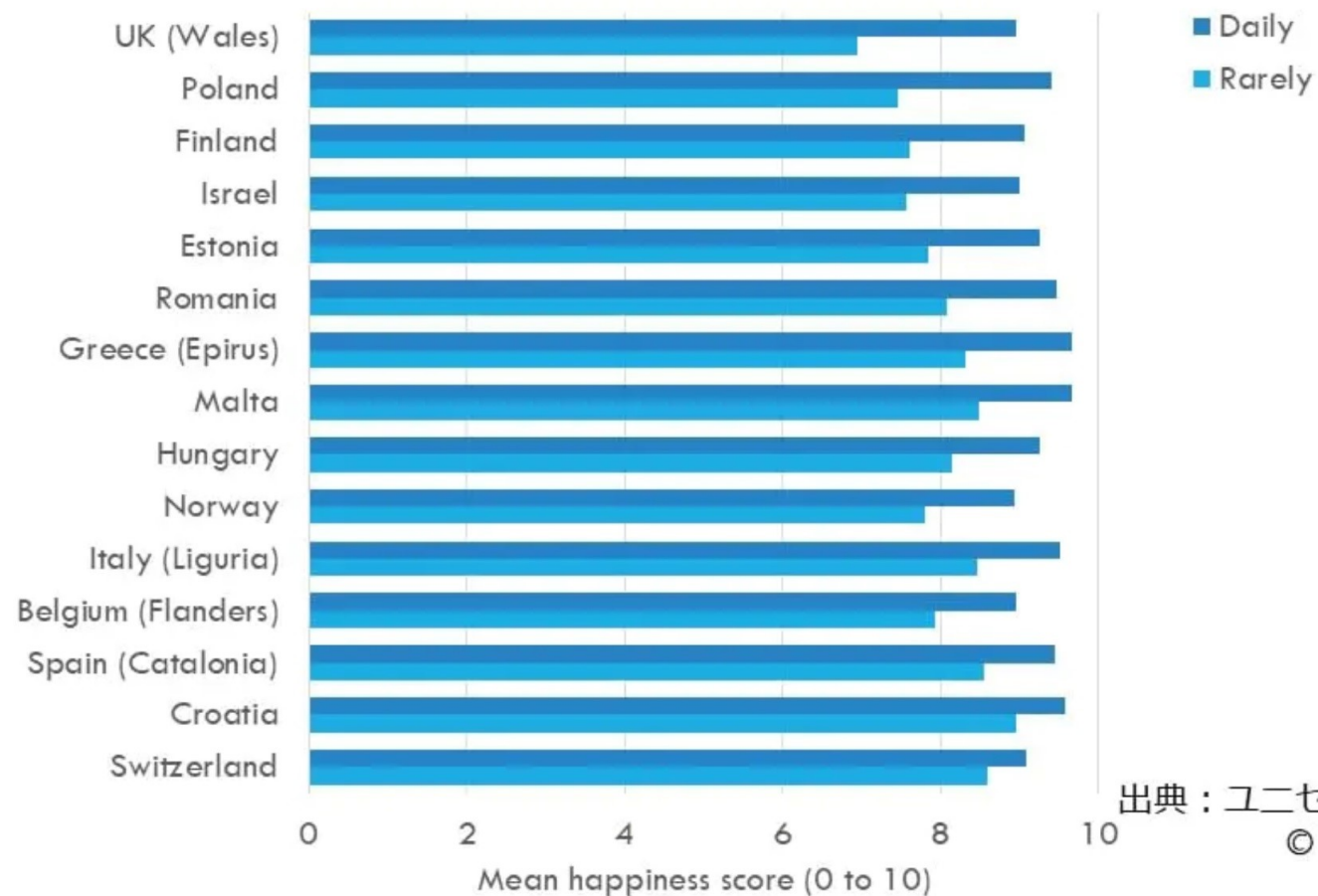


図2:都市部の平日の子どもの外遊びの日数



より多く外で遊ぶ子どもの方がより幸せ



出典：ユニセフ「レポートカード16」
© (公財) 日本ユニセフ協会

③

おちかくプレーパーク

(遊びで地域をつなげる事業)

いつもの活動場所を飛び出し、越谷市内の様々な屋外空間で実施

スーツケース型の遊びキット「コロコロ君」を活用し、子育て世代を中心に遊びを通してコミュニケーションが育める場をつくっている。

★2022年の実施場所

- ・湖畔の森公園
- ・レイクタウン大芝生広場
- ・新町・本町ふれあいひろば 等

将来的には車両をつかった事業(プレイカー事業)に発展させたい！



移動式あそび場について



特長①

いつでも、どこでも あそび場に変身

移動できることで、道や駐車場、空地や広場、公開空地や廃校、駅前広場や仮設住宅周辺など、どこでもあそび場に変身する。その場の要素×搭載したモノ×人…でムゲンのあそびが創出。それぞれの日常の延長にあそび場が出現し、まじ中に子どもの居場所が育まれる。

参加者の声

「道路で遊ぶの何だかワクワクする」
「息子がこんなにも長く遊んだのは初めて！廃材や素材だけでもこんなに遊べるんだって知った」
「畳やじゅうたん親子でゴロゴロするのが好き。毎回自分の家の前に来てくれるので、自分たちのペースで遊んでいます」



特長②

地域内の多様な コミュニティ育成

通りかかった老若男女が自然に交流し、顔の見える関係ができる。また、活動プロセスで多世代・多分野が参画し、子どもを中心した新たなコミュニティが紡がれる。孤立の子育て解消や新旧住民交流などにつながる。

参加者の声

「この活動で世代違う友達がたくさんできた」
「知らないおじいさんから昔あそびをたくさん教わった。それが一番楽しかった」
「毎月1回、これを楽しみに暮らしています。赤ちゃんから高齢者まで遊べる場所はないのでうれしい」



特長③

地域を超えた 資源共有&課題解決

移動できることで、点から線、面へと活動が広がり、地域を超えたつながりができ、人的・物的・文化的など様々な資源の共有ができる。そして、自治会や商店街、企業や行政、学校やNPOなどの多様な協働により、現代の社会課題を解決するきっかけの活動になる。

参加者の声

「防災や福祉の視点でも協働できたことがよかった。他の地域にも広げたい」
「将来は、まちづくりに関する仕事につきたいと思った！このまちで何か面白いことをしてみたい」
「大人の社会的な壁を超える力があつた」



移動式 あそび場の 場面&効果

- ①常設のあそび場に向けての月1回などの定期活動
- ②自主保育やフリースクール、児童館などの居場所づくり
- ③地域イベントによる多世代コミュニティ育成
- ④企業や行政との協働イベントによる社会的発信
- ⑤被災地における仮設のあそび場づくり など

越谷市でも プレイカーをつくりたい！

プレイカーづくりに チャレンジ中

GCFにチャレンジ

スーツケースに遊
び道具を詰め込ん
でチャレンジ



◆初期投資

- ・車両購入の費用
- ・車両をペイントする費用
- ・遊び道具やキット制作の費用

◆ランニングコスト

- ・燃料費
- ・保険代
- ・駐車場代
- ・人件費
- ・消耗品費
- ・広報費



遊びあふれるまちへ



To be continued